

第6期 中原区区民会議
中間報告書(平成28年度)



平成29年3月

第6期中原区区民会議中間報告書の発行によせて

災害に強い、ユニバーサルなまちづくり

人口が初めて25万人を突破し、民間企業が実施した「住みたい街ランキング2016」で武蔵小杉が第4位になるなど、更なる発展が続いている中原区。若い世代や外国籍の方々など、区民の多様化も進んできています。

こうした中、「今、中原区で解決に取り組むべき地域課題は何か」「区民会議だからこそ、できることは何か」を考えた時、委員の意見の中に表れてきたキーワードが、「防災」と「オリンピック・パラリンピック」でした。

「防災」は東日本大震災や昨年の熊本地震などからも、区民の関心が今、非常に高い分野と考えられます。また高層マンションが増え、新規転入者、若い世代、外国籍市民などが多い中原区の地域でこそ、進めるべき、進められる取組があると考えました。

「オリンピック・パラリンピック」は2020年の東京オリンピックに向けて、夢が広がるテーマです。区内にはパラリンピアン練習場としても活用されている等々力競技場があり、英国代表チームの合宿地としても内定しています。諸外国からの選手や観客など沢山の方々を温かく迎える準備とともに、地域の文化や魅力を区内外に伝える絶好の機会であると考えられます。

更なる話合いの結果、この三つのテーマをつなぐものとして、誰もが住んで、訪れて安全・安心な、「ユニバーサルなまちづくり」を目指し、多様な区民の「絆」をつくり、深めながら進めようと「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」を今期の区民会議の一つ目のテーマとして設定しました。

集中的な討議を行った課題調査部会には、地域の自主防災活動等の経験が豊富な委員も参加し、「より多くの区民に防災情報を届ける方法」「情報弱者とは誰でどこにいるのか?」「自ら備える、地域防災に自主的に参加していく意識を育む方法」など、大変活発な議論がなされました。その結果として、「地域課題解決に資する取組提案」をまとめたのが、この報告書です。

任期の後半となる平成29年度にはこの提案の実現に区役所や地域の諸団体の方々と共に取り組んでいくとともに、新たなテーマ設定に基づく、調査審議も進めてまいります。

これからも中原区区民会議へのご理解・ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

第6期中原区区民会議委員長

成田 孝子

目次

第6期中原区区民会議審議テーマ

「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」

Ⅰ 審議テーマ（地域課題）の選定

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 地域課題の抽出と検討 | 4 |
| 2. 各委員の意見 | 5 |
| 3. 審議テーマの決定、テーマに込められた思い・ねらい | 6 |
| 4. 審議テーマ（地域課題）の現状・取組事例 | 7 |

Ⅱ 地域課題の解決に向けた第6期中原区区民会議の提案

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 課題解決に向けた取組提案 | 8～19 |
| 2. その他の検討内容・話題 | 20・21 |
| 3. 後期の審議テーマ・進め方の検討 | 22 |

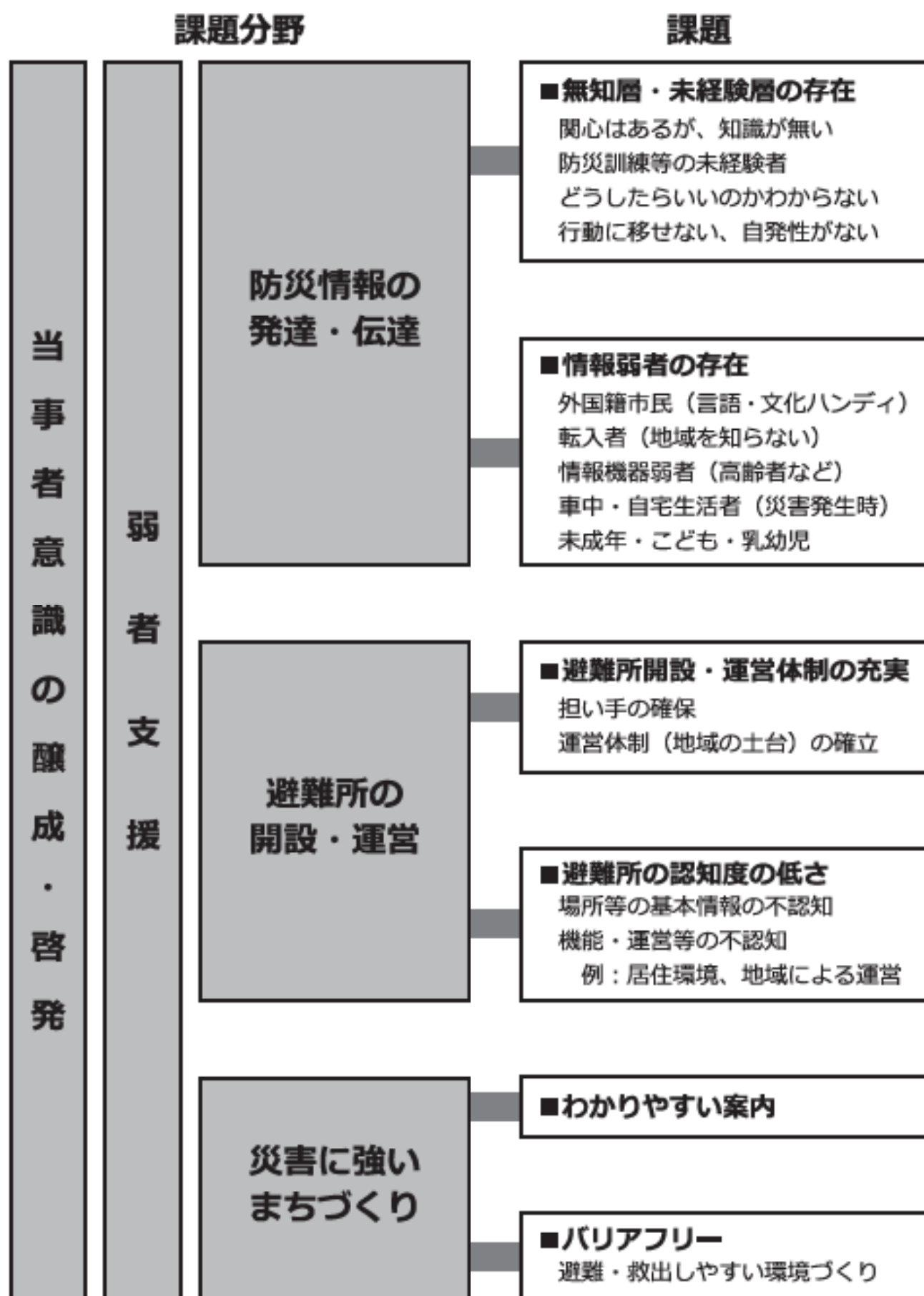
Ⅲ 資料編

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 第6期中原区区民会議について | 23 |
| 2. 委員・参与 | 24・25 |
| 3. 平成28年度会議開催記録 | 26～28 |
| 4. 「なかはら区民会議だより」の発行 | 29～31 |



中原区区民会議キャラクターたぬきくん

審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」



解決の方向性

■広報・情報共有の強化・充実

広報物、メディア活用
防災・地域情報の発信・共有
キャンペーン、啓発イベント、
モデル取組の設定・PR、出前講座
既存の情報から重要な情報を伝達

■「互近助」関係づくり

地域内で日常から世代交流の推進
身近な弱者の把握と情報共有
「お世話できる側」を増やす
(外国籍市民含む)

■災害前からの備え・対策

家庭内備蓄等の自発的備えの推進
地域防災訓練参加へのきっかけづくり
様々な状況を想定した訓練

■避難所開設・運営訓練

の充実・強化

運営体制の確認・強化
避難所の機能や生活の体験・認知向上

■担い手の発掘・育成

中高生世代・退職世代・企業の活用
技術や知識保有者等の活用
リーダー育成

■避難所機能の強化

安否・避難状況確認等の機能強化
弱者対応の体制・機能の強化
情報伝達のしくみづくり
被災地の事例・実態調査→結果の活用

■サイン整備

わかりやすい街中のサイン・案内

取組提案

提案Ⅲ：防災情報の発信

・在宅避難の薦めや防災訓練開催情報など
▶14 ページ

提案Ⅱ：中原総合防災マップづくり

・既存の防災資料を一括化
・地域レベルでカスタマイズできる物に
▶12 ページ

提案Ⅴ：震災体験の講話・講演

▶17 ページ

提案Ⅰ-①：体験型防災プログラムの実施推進

・サッカー教室、総合防災訓練などの場で
体験プログラムの導入
・初めての方が楽しみながら体験
・学校の避難訓練に + アルファ
▶9 ページ

提案Ⅰ-②：避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進

・避難所が直面する課題を模擬体験
・地域・団体での体験を支援・推進
▶10 ページ

提案Ⅳ：市民救命士の育成

・市認定「市民救命士」の育成・普及強化
▶16 ページ

提案Ⅵ：安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用

・無事ですカード、避難所運営多言語化掲示など
▶18 ページ

提案Ⅶ：街中案内・マップの充実

▶19 ページ

I 審議テーマ（地域課題）の選定

1. 地域課題の抽出と検討

平成28年8月4日に開催された、第1回区民会議では、過去の区民会議（第1～5期）で取り扱われたテーマと提案、取組結果等を確認した後、各委員に事前に記入いただいた「審議テーマシート」に基づき、委員が日頃感じている中原区での地域課題の抽出・整理を行い、区民会議で取り組みたい地域課題について話し合いました。

【委員提案による地域課題の分野別整理】 ※数字は審議テーマシートに記入された意見数



意見数が多かったのが子育て、防災の分野で、人口増や区民の多様化を踏まえた取組が必要との意見でした。その他、交通、高齢者福祉、魅力発信や地域コミュニティに関する意見も出ました。過去の区民会議ではあまり取り組んだことのない分野として、文化・観光の分野で、2020年東京オリンピックに向けた取組が今こそ必要との意見も出ました。

2. 各委員の意見

【分野別の地域課題に関する委員の主な意見】

- 防災**…防災連携（マンションや地域企業と地域）、避難所における地域住民の役割、
外国籍市民、転入者への地域防災知識普及、災害発生時の障がい者支援 など
- 交通**…誰もが歩きやすいまち（バリアフリー、サイン改善・多言語化、環境改善）など
- 防犯、安全・安心**…防犯セミナー、多世代・多様な区民の相互理解で暮らしやすいまち
- 高齢者福祉**…ひきこもり対策、独居高齢者（特に男性）への交流・支援の促進 など
- 子育て**…こどもと高齢者の交流、居場所・遊び場づくり、中高生が気軽に相談できる場、
貧困の実態調査と支援、放課後居場所の担い手育成、地域との関係強化 など
- 教育**…幼少期からのマナー意識づけ、総合的な教育
- ごみ問題**…地域で取り組むリサイクル（商店街・企業・飲食店など）
- 産業振興**…大型店舗出店で商店街が苦戦、後継者不足
- 魅力発信**…区内の活動やレジャーの発信、地域イベントを誰もが参加しやすい形に、
- 文化・観光**…オリンピックパラリンピックに向けた歓迎・おもてなしのまちづくり、
地域伝統文化・芸能のアピールや継承
- 地域活動**…町内会加入促進、若年層・中年層の地域人材の発掘・活用、
既存イベントの連携・効率化 など
- 地域コミュニティ**…地域イベントの認知向上→地域価値向上、住民の世代間交流、
地域のたまり場づくり など



3. 審議テーマの決定、テーマに込められた思い・ねらい

平成28年8月24日に開催された第1回運営部会で、審議テーマの絞込を行いました。

区の特徴や現状を踏まえ「今、取り組むべき課題」を検討した結果、審議テーマの候補として、「防災」と「オリンピック・パラリンピック」の大きく二つが挙げられました。

■テーマ候補1：防災

熊本地震などによる防災意識の高まりを契機に、いつ来るかわからない大震災に備える。特に多様化する区民の防災として、弱者支援や助け合いのまちづくりをテーマとする案です。「世代交流や相互理解を解決への道筋とすることで、子育てなど、他の意見が多かった地域課題にも包括的に取り組める」との意見もでました。

■テーマ候補2：オリンピック・パラリンピック

4年後の東京オリンピックに向け、区内の等々力競技場がパラリンピアン練習場として活用されていることや、英国代表合宿予定地となっていることなどを踏まえ、来訪者へ向けた魅力発信・歓迎のまちづくりをテーマとする案です。しかし「来訪者よりも、区民を優先したい」「招致の効果・活かし方などがまだ見えにくい」との意見もでました。

■二つのテーマをつなぐもの：ユニバーサルなまちづくり

二つのテーマをつなぐもの、共通して必要なこととして、「ユニバーサルなまちづくり」が挙げられました。誰もが安全・安心に移動できるバリアフリーで分かり易いサインのあるまちは、「来訪者を案内・歓迎しやすい」「災害時に避難・救助がしやすい」、「ユニバーサルなまち」であると考えました。

以上の検討から、運営部会では、第6期中原区区民会議の一つ目の審議テーマの案を、

「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」としました。

■テーマに込めたねらい

弱者支援、世代交流による相互理解推進、地域の情報の共有などを特に意識し、ソフト面による課題解決の方向性を探ることをねらいとしました。

■審議テーマの決定

平成28年10月11日に開催された第2回区民会議では、運営部会の審議テーマ案が発表され、出席全委員の賛同を得て、審議テーマが決定されました。

4. 審議テーマ（地域課題）の現状・取組事例

9名の委員による課題調査部会を組織し、計4回の会議で審議テーマに係る調査・審議を集中的に進めました。まず、区・市の既存の取組や施策等について調査、確認を行い、課題の現状把握にまず努めました。把握された主な内容は以下のとおりです。

中原区内の避難所の指定、避難所運営会議の組織、避難所運営訓練の開催

- 市立の小中学校を中心に28か所を避難所として指定
- 区内105の自主防災組織の方々を中心に各避難所の「避難所運営会議」を組織
- 避難所運営会議マニュアルの作成。避難所の開設・運営などの訓練の実施

帰宅困難者対策「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」

- 鉄道事業者、民間事業者など周辺が協力して「帰宅困難者対策」を実施
- 帰宅困難者一時滞在施設、災害時帰宅支援ステーション、帰宅困難者向けリーフレットの配布、むやみな退避行動の抑止、混乱防止、徒歩帰宅の支援 など

災害情報の提供・発信

- 各種紙媒体…防災マップ、液状化危険度分布、ゆれやすさ、洪水避難 など
- インターネット、防災アプリ、メールニュースかわさき、防災無線 など
- 避難場所等の表示看板、駅周辺案内図内に避難所等各情報の掲載

特色ある防災訓練

- 中原電車区（車両基地）での防災訓練…電車からの脱出・救出等
- 武蔵小杉駅帰宅困難者対策訓練…駅周辺の安全確保
- 等々力陸上競技場テロ対策訓練…メインスタンドでテロ対策訓練
- 多摩川水防訓練…風水害への備え



Ⅱ 地域課題の解決に向けた

第6期中原区区民会議の提案

1. 課題解決に向けた取組提案

課題調査部会を中心に、次の観点を検討しながら、審議テーマに係る地域課題の解決に向けた取組提案の検討を進めました。

【取組提案検討のポイント（6つの観点）】

区の特徴や現状…中原区ゆえ・らしさ	実現性…担い手・費用・手段等の目途
区民会議取組として…意義や妥当性、効果	話題性…時勢・ニュース性
緊急性・優先性…切迫度、深刻度	共感性…やってみよう・やってみたい

第2回課題調査部会と第4回課題調査部会の後には、運営部会、区民会議（全体会）でその審議経過を報告し、委員全体で意見交換、参与のコメント等もいただきながら検討を進めました。

その結果、まとまったのが以下の提案です。

提案Ⅰ-①: 体験型防災プログラムの実施推進 ▶ 9 ページ

提案Ⅰ-②: 避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進 ▶ 10 ページ

提案Ⅱ: 中原総合防災マップづくり ▶ 12 ページ

提案Ⅲ: 防災情報の発信 ▶ 14 ページ

提案Ⅳ: 市民救命士の育成 ▶ 16 ページ

提案Ⅴ: 震災体験の講話・講演 ▶ 17 ページ

提案Ⅵ: 安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用 ▶ 18 ページ

提案Ⅶ: 街中案内・マップの充実 ▶ 19 ページ

提案Ⅰ-① 体験型防災プログラムの実施推進

解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

- 参加のきっかけづくり
- 防災意識の啓発
- 避難所開設・運営訓練の充実・強化

提案内容

(1) 体験型防災プログラムの導入（対象例）

①川崎フロンターレ親子サッカードリーム教室

- ・等々力陸上競技場。平成 29 年は 10 月開催予定
- ・区内小学生の親子 500 組、1000 名以上参加
- ・グラウンド周辺で複数のプログラムを展開



親子サッカードリーム教室

②中原区 警察・消防・区役所ぐるぐるツアー

- ・平成 28 年 8 月に初開催 3 施設を巡りながら「まちの安全」を学ぶ

③中原区総合防災訓練

- ・平成 29 年度に 2 回、開催予定。親子訓練、避難所運営訓練など検討中

④学校で「防災教室」の開催

- ・「交通安全教室」のような授業内での開催
- ・既存の避難訓練に + アルファとしての導入など

(2) 導入プログラムの案 ※個別の場合や条件に合わせて検討・実施

- ・スタンプラリー形式…複数プログラムを周る楽しみを演出
- ・ゲーム形式…楽しい・良い思い出として残るよう工夫
- ・体験内容…車椅子、放水、煙中避難、土嚢運び・積み、トイレ組立、ロープ結び、暗闇歩き、非常食調理・食事、避難所宿泊など
- ・展示…防災車両、非常食、防災備品など
- ・ワークショップ…避難所開設・運営、多言語コミュニケーション、掲示デザイン、防災クイズなど

今後の検討課題

- ①「きっかけづくり」から「担い手・体制づくり」への道筋
- ②既存の活動に参加していない高齢者や無関心層などの引き込み

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、青少年育成団体、自治会町内会など

役割：主として地域主体の体験型防災プログラム等の企画、会場、募集

行政…役割：主として区全体を対象とした体験型防災プログラムの運営等

区民主体のプログラムの指導、企画や広報の支援など

提案Ⅰ-② 避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進

解決したい地域課題

- 避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

- 担い手の育成
- 「互近助」関係づくりの推進

提案内容

「避難所運営ゲーム（HUG）」の体験推進

災害発生時の避難所における施設利用、機能配置を題材に、避難所が直面する課題を模擬体験するゲームの体験推進

- ・自主防災組織や自治会町内会単位での体験・実施を支援
- ・こども用にアレンジして学校等でも実施（提案Ⅰ-①の中での検討など）
- ・地域単位で経験者、運営の担い手を育て、地域が自主的に展開できる体制を目指す（行政のみの指導運営では企画拡大、指導体制に限界がある）

※「避難所運営ゲーム（HUG）」の前段階等として、「クロスロード」（被災時に体験する正解の無いジレンマを題材に、合意形成や非常時対応の難しさを模擬体験するゲーム）の実施推進等も検討



今後の検討課題

ゲーム実施推進の方法、対象、実施主体など

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、青少年育成団体、自治会町内会など
 役割：実施機会の企画、会場、募集等→地域の担い手・指導者の育成
 行政…役割：ゲームツールの貸し出し・初回の指導など

参考事例・情報

(1) 渡田まちづくり防災フェス(川崎市川崎区)

平成 28 年 10 月 30 日・渡田まちづくりクラブ主催。地域の 7 町会が共催、200 名参加。消防署等の協力も得て、町会単位ではなかなかできない、救急法、搬送法、AED、仮設トイレ組立などの体験型プログラムを実施。



仮設トイレ設置訓練

(2) 子ども安全安心・防災フェア(川崎市幸区)

8 月開催。起震車、応急給水、防火衣試着など体験の他、子どもを対象にパトカー、消防車等の車両展示や体験乗車、各種安全教室など開催



消火器訓練

(3) 平成 28 年度 幸区春の総合防災訓練

(川崎市幸区)

平成 29 年 2 月 11 日、日吉中学校校舎全体を使った実践的な総合防災訓練として、550 人参加想定で自主防災連絡協議会と区が主催。

30 にも及ぶ訓練内容を実施。

(4) 中原消防署による災害図上訓練(DIG)

の実施

DIG=Disaster Imagination Game

白地図上で災害を想定しながら、防災情報を掘り起し、整理していく手法。中原消防署では中学校等を対象に毎年実施している。



災害図上訓練(DIG)



提案Ⅱ 中原総合防災マップづくり

解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 情報弱者の存在

課題解決の方向性

- 平常時の防災意識啓発
- 災害前からの備え・対策
- 「互近助」関係づくり、情報共有

提案内容

中原総合防災マップ（冊子）の作成

マップ編集の考え方・目的→具体的な掲載方法・内容案

①自分の住む地域、周囲の情報を知り、理解できるマップ

- 「身近な地域レベルの地図」を掲載
- 書き込み可能な地図や欄を掲載

②既存の多様なマップ・資料を一括化、凝縮したマップ

- 特に必要な情報を抽出
- 色分け等でわかりやすく提示

③地域や家庭でカスタマイズ・活用できるマップ

- 付箋や書き込み可能なシールなどを盛り込む
- 「無事ですカード」（提案Ⅵ）を切り離し形式などで盛り込む

④「日常からの備え」「災害発生時の対応・行動」のガイドとなるマップ

- 帰宅支援マップや避難生活に役立つコラム等を掲載
- 災害への備え、災害発生時の行動に資する情報の厳選と掲載

⑤誰にでもわかりやすく、使いやすいマップ

- イラストなどで視覚的にアピール
- 文字はできるだけ大きく、少なく、読みやすい文章
- 「やさしい日本語」による表記、多言語表記等の導入
- 索引機能の導入…困り事や知りたい情報からの検索



中原区防災マップ

今後の検討課題

- ①サイズ・形式…地図重視（A4版）、持ち出し重視（ハンドブック版）など意見
- ②別冊…無事ですカード、付箋やシールなどの別冊としての製作など

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、自治会町内会、市民活動団体・個人

役割：マップの活用など

行政…役割：マップの企画・編集・発行・配布など

参考事例・情報

(1) 「防災ブック 東京防災」

(東京都総務局総合防災部防災管理課)

各家庭において、首都直下型地震等の様々な災害に対する備えが万全となるよう、一家に一冊常備され、日常的に活用できる防災ブック「東京防災」を作成し、都内の各家庭宛てに、平成 27 年 9 月より順次配布。書店等でも 140 円で販売。



「東京防災」

(2) 合志市総合防災マップ (熊本県合志市)

合志市合併 10 周年を記念して、株式会社ゼンリンと市の協働事業により発行。68 ページの冊子に各種被害想定、備えや対策、加筆可能な小地域単位のマップ等を掲載。



合志市総合防災マップ目次

(3) 福岡県子どものための防災 MAP (福岡県)

こどもが、災害の事を学びながら、地域の避難所や必要な備えを知るとともに、自宅や学校からの避難ルート MAP を作成できる書き込み型の小冊子。16 ページ。



福岡県子どものための防災 MAP



提案Ⅲ 防災情報の発信

解決したい地域課題

- 無関心層・未経験層の存在
- 情報弱者の存在

課題解決の方向性

- 平常時の防災意識啓発
- 弱者支援・情報の伝達

提案内容

(1) 啓発短編動画の製作

数十秒～数分の防災啓発動画を製作 ※内容案は以下のとおり

①「在宅避難」の薦め

災害発生後も可能ならば、自宅で生活することが快適・安全であること
避難所の環境・機能・備蓄等の限界について
在宅避難を可能にする家庭備蓄の方法（ローリングストック法など）
防災レシピ など

②地域での防災訓練の開催情報

地域単位の防災訓練・イベント等の開催予定
見学や参加の方法、地域での企画の方法等、アクションにつながる情報提供

(2) 啓発短編動画の配信

製作した啓発短編動画を多くの区民の目に触れる場所で
配信・放映

①区役所区民課窓口待合スペースモニター

第5期区民会議の交通安全に関する提案で、
短編動画の配信実績がある

②小杉ビジョン

武蔵小杉駅南口「KOSUGI PLAZA」の屋外モニター
市の広報等で活用実績がある

③オズ通り商店街 デジタルサイネージ

(3) 商店街等でのマップの掲出



小杉ビジョン

今後の検討課題

伝える・伝わる工夫…防災に関するクイズ形式など、興味を惹く工夫

担い手（取組の主体と役割等）

行政…役割：啓発動画の企画・撮影編集・配信など

参考事例・情報

(1) メールニュースかわさき「防災気象情報」

登録者に市に関する緊急情報、防災に関連する情報をメールで配信するサービス。登録者を増やす目的で、携帯電話からの登録方法をわかりやすく記載したチラシを作成し、配布中。

(2) 区民課窓口での交通安全啓発動画の配信

第5期中原区区民会議の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー」に基づく提案を受けた取組として、「スタントマンによる事故再現の動画」や「自転車安全利用五則（文字）」等を素材にした15秒の動画を製作。区役所区民課窓口のモニターで繰り返し放映し、待ち時間中の区民などに見ていただく機会を創出した。

(3) 小杉ビジョンを活用した行政情報のPR

武蔵小杉駅南口「KOSUGI PLAZA」屋外モニター。駅前の広場に面しており、市の広報や、川崎フロンターレの試合のパブリックビューイングで使われた実績がある大きなモニター。



メールニュースかわさき 登録呼びかけチラシ



区民課窓口モニターで交通安全啓発動画



小杉ビジョンでゴミ収集方法変更を広報

提案Ⅳ 市民救命士の育成

解決したい地域課題

■避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

■担い手の育成、「互近助」関係づくり

提案内容

市民救命士の育成

市が認定、育成している「市民救命士」の区内での育成・普及の強化

特に中高生や外国籍市民など新たな担い手の発掘にも努める

※市民救命士：心肺蘇生法、止血法など応急手当の実技を身につけた市民を養成する講座を開講。修了者を認定している。

※概ね3年毎の更新を目安とし、市全体で14,290人以上／年の養成を目標としている。

※特に年齢制限はなし。内容的には中学生以上で取得可能。

※上級資格として、市民救命士の育成に携わる「応急手当普及員」も認定している。



市民救命士 講習修了証

今後の検討課題

育成・推進の方法…研修・講座等の開催方法、ターゲットなど

担い手（取組の主体と役割等）

区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、自治会町内会、市民活動団体・個人

役割：実施機会の企画、会場、募集、受講など

行政…役割：講師の紹介・仲介など

参考事例・情報

危機管理士

特定非営利活動法人 日本危機管理士機構が認定する資格で座学や演習を開講。

2級（2種）…自然災害（地震、風水害、火山爆発など）

社会リスク（大規模事故・企業不祥事、パンデミックなど）

1級…自然災害と社会リスクの両方に対応できる人材

※年1万円以上の会費、同法人による講座の定期的な受講が必要。

提案Ⅴ 震災体験の講話・講演

解決したい地域課題

- 無知層・未経験層の存在

課題解決の方向性

- 平常時の防災意識啓発
- 災害前からの備え・対策

提案内容

震災体験者による講演・講話の機会の推進

- ①地域の防災訓練や会合の場で開催する
地域の防災訓練／地域団体会合／市民活動団体会合／地域イベントなど…
- ②内容を記録し、公開する
冊子化／区のHP等、ネット上で公開

今後の検討課題

- ①講演者の確保、内容の調整
…委員のつて／講師／市役所職員（被災地支援経験者）など
…依頼ルート／有償／無償、講話の効果を高めるための資料や演出など…
- ②講演・講話の場や広報など

担い手（取組の主体と役割等）

- 区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、自治会町内会、市民活動団体・個人
役割：実施機会の企画、会場、募集、受講等
行政…講師の紹介・仲介など

参考事例・情報

（１）山村武彦氏（防災システム研究所）の講演

「避難所環境は劣悪な場合があり、在宅避難できるのであれば、その方が良い」「互近助」が重要

（２）熊本地震 派遣職員体験談

市内各区で、熊本地震の被災地支援として現地へ派遣された市の職員が体験談を話している。

（３）熊本市長の講演

平成29年1月23日「川崎市防災シンポジウム」で熊本市長が講演



市内の防災訓練で体験談を話す職員

提案Ⅵ 安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用

解決したい地域課題

■避難所開設・運営体制の充実

課題解決の方向性

■避難所機能強化

※特に避難状況や安否確認の把握、外国籍市民の支援等の機能の強化

提案内容

(1)「無事ですカード」の製作

- 災害発生後の速やかな安否確認等を目的に、救助・救援を特に必要としない家庭が玄関前等に「無事です」「〇〇に避難中」など掲示するカード・緑色など無事をイメージし、建築物判定等の掲示と紛らわしくない色とする。
- ・「自宅に居て無事」も掲示できるものとする。
 - ・シール形式、吊り下げ用の穴、防災資料への盛り込みなど検討する。



無事ですカードの例

(2) 避難所運営に資する資料の導入及びその多言語化

避難所運営に関する掲示、避難者登録カードなどの事前製作と多言語化
避難所への配置 など

今後の検討課題

作成資料の内容、製作・活用方法等

※実際の災害時の混乱や困難性。個人情報の壁等への考慮も必要

担い手（取組の主体と役割等）

- 区民…主体：自主防災組織、避難所運営会議、自治会町内会、市民活動団体・個人
役割：資料の活用
- 行政…役割：資料の企画・製作・配布など

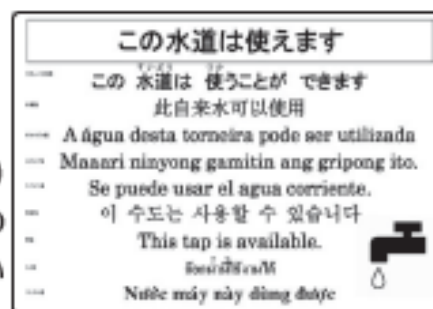
参考事例・情報

(1) 無事ですカード（高津区ほか）

(2) 避難所運営に資する資料の作成・準備

（横浜市他）

避難所内の掲示や避難者登録カードなどの多言語版（ピクトグラムやイラスト等も用いた物）を製作し、避難所単位で用意



避難所掲示（多言語）の例

提案Ⅶ 街中案内・マップの充実

解決したい地域課題

- 分かりやすい案内
- 避難・救出しやすい環境づくり

課題解決の方向性

- 街中サイン・地図の更新・改善
- 街中サイン・地図の整備

提案内容

(1) 提案Ⅱのマップの有効活用

商店街・コンビニエンスストア等への当該地域の地図の掲出など

(2) 駅周辺等の街頭案内地図の更新

※数年毎の貼り換え、情報の更新の際に実施する。

- ・ 想定浸水深、避難所エリア、公衆トイレなどの情報の追加・整理
- ・ QRコードの活用によるネット上の詳しい防災情報へのアクセス誘導
- ・ その他、地域単位の情報の掲載



武蔵小杉駅周辺の現在の街頭案内地図

今後の検討課題

① 掲載情報の取捨選択

なんでもかんでも掲載してもかえってわかりにくくなる

② 地図上での表現方法

色分け・アイコン等、より分かりやすい方法の検討

担い手（取組の主体と役割等）

行政…役割：マップの更新・設置

参考事例・情報

(1) 川崎区 海拔表示板

（川崎区区民会議の提案を受けて実施）

町内会掲示板を中心に設置地点の「海拔」と最新の津波被害想定による「浸水深」を3か国語で表示したアクリルプレートを設置。

(2) 避難所表示、海拔表示等の設置

多くの自治体で事例。ステッカー形式、電柱・郵便ポスト等への設置例もある。



電柱上表示の例

2. その他の検討内容・話題

その他、課題調査部会での検討内容、話題となった事例等を以下に紹介いたします。

(1) 等々力競技場周辺の UD マップ制作&マナーエリア啓発事業

平成 28 年度の中原区市民提案型事業として川崎フロンターレ中原アシストクラブが提案、実施された事業。

駅から等々力競技場までの道を、ユニバーサルな視点で地域の小学生と球団の OB やマスコットなどが一緒に、多機能トイレ等に関わる課題やサッカー観戦で起きている地域課題について講演を聞いた後、現地実地調査を行い、ユニバーサルデザインマップを制作・配布した。

地域の防災情報を共有、整理する手法として、他地区でも同様の取組を実践したり、応用ができるのではないかと意見が出た。



マップづくりの参加呼び掛けチラシ

(2) モトスミ・オズ通り商店街振興組合の取組

中原区内、東急東横線・元住吉駅前の商店街では地域・被災地と連携した「安全・安心な街づくり」が進められている。

地域住民が市民記者として参加し、地域の安全情報等をまとめた「安全ぶっく」の発行、各店舗ができることを掲げる「一店一安心運動」の展開、商店街と地元小学校・慶應大学生が連携して、災害時の対応を学ぶ「街なか安全教室」の実施等の活動は、第 20 回防災まちづくり大賞（平成 27 年度）で「総務大臣賞」を受章した。

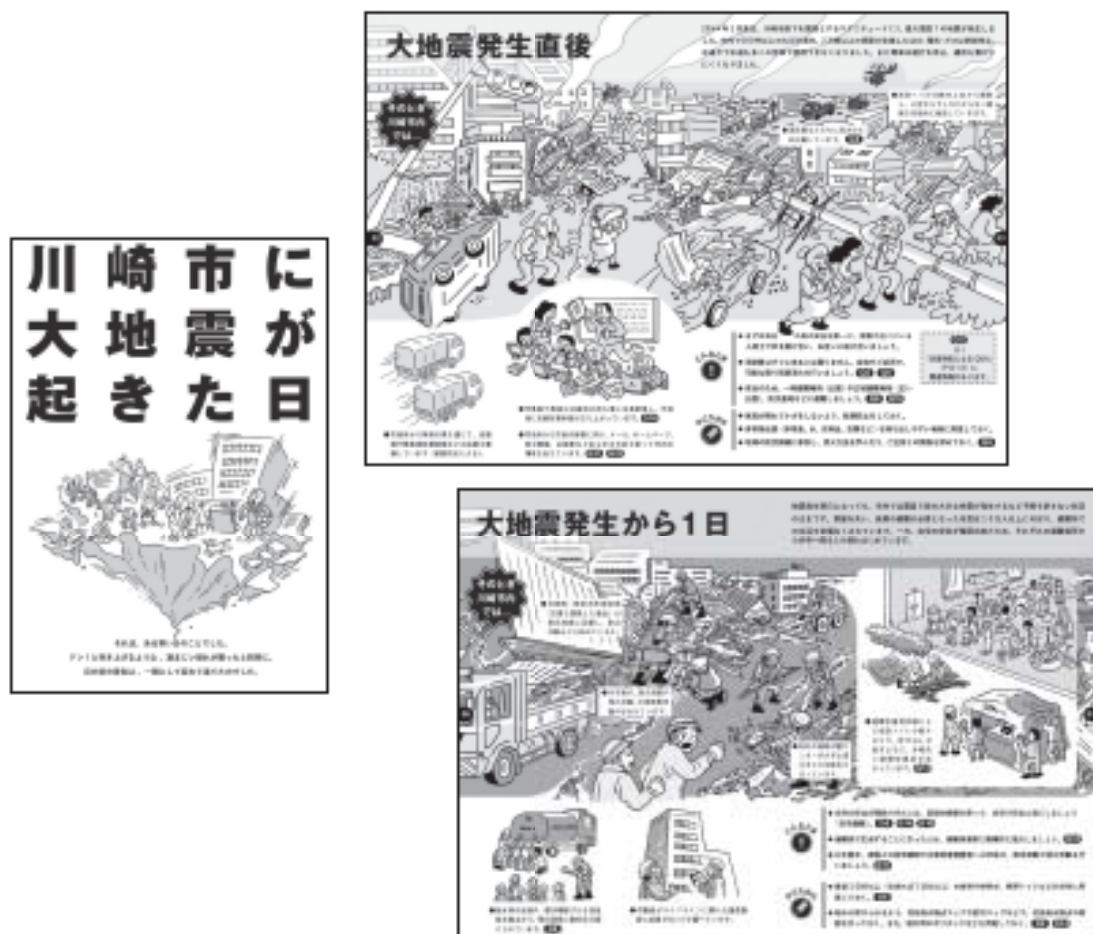


(左)「安全ぶっく」(右)取組を地域に知らせる「安全にゆーず」も発行

(3) 冊子「川崎市に大地震が起きた日」

平成 29 年 1 月に川崎市総務企画局危機管理室の企画・編集で発行された防災啓発用の「防災絵本」。大地震の発生時に想定される状況や、市の描く復興に向けたシナリオ、「災害時気になる Q&A」などを掲載している。B5 版 16 ページという特徴のある仕様。

イラストを大きく、多用し、大地震の際に実際に想定される事態を直接伝える、分かり易い資料として、委員間で評価する意見、「中原総合防災マップ(提案Ⅱ)」制作の際には参考にしたい」などの意見がでた。



3. 後期の審議テーマ・進め方の検討

後期の審議テーマ・進め方の検討（第4回区民会議・3月23日）

第4回区民会議では、第6期中原区区民会議の2年間の任期の後期に取り組む審議テーマについて、意見交換しました。

平成29年4～6月に開催が予定されている第4回運営部会、第5回区民会議での検討を経て、後期の審議テーマの決定を行う予定です。

【第4回区民会議での意見の概要】

- 「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」のテーマを継続し、さらに掘り下げてはどうか。
- 「提案をして終わり」になってしまっては区民会議の意味も薄れてしまう。実践までしっかり取り組めると良い。
- 「災害に強い」部分の議論はある程度尽くされた感があるが、「ユニバーサルなまちづくり」の部分は、もう少し掘り下げたい。中原区の多様な市民、例えば外国籍の方なども視野に入れて、議論を深めたい。
- 提案には見えにくくなっているかもしれないが、前期の部会の討議でも、外国籍の方や障がいをお持ちの方、情報弱者の方などへの支援や参加を得る方法などの討議は行っていた。
- 当初「ユニバーサルなまちづくり」の部分は、オリンピックやパラリンピックに向けた歓迎のまちづくりと繋がりうるテーマとして設定していた。
- 過去の区民会議では後期に設定したテーマは時間不足などから、提案の掘り下げや実践が不十分なまま終わってしまうことが多かった印象だった。
- 各提案の実践において、区民会議が主体とはなりにくいものもあるが、委員がしっかりと関わっていける形ができると良い。



Ⅲ 資料編

1. 第6期中原区区民会議について

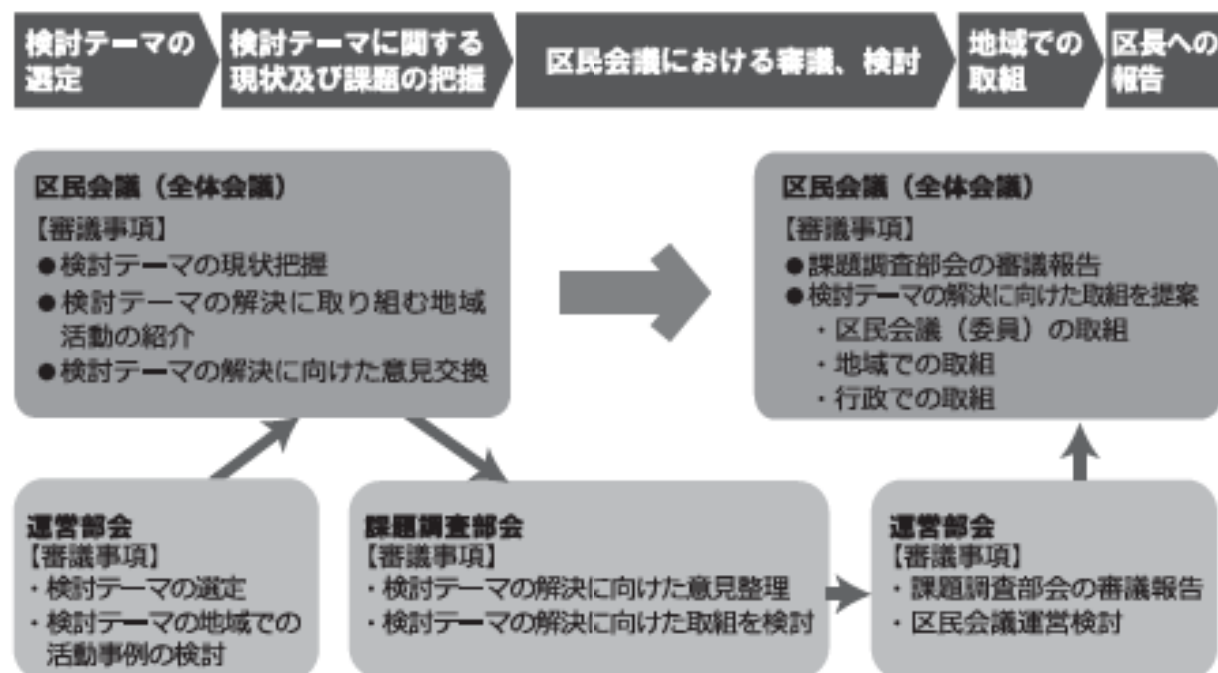
①区民会議とは

**区民が主体となり、
地域課題を解決するために
話し合う会議です**

区民会議は、平成17年4月に施行した川崎市自治基本条例の第22条に規定されています。区民の参加と協働により、地域の課題を区民が主体となって解決を図るための調査・審議を行う会議で、暮らしやすい地域社会をつくることを目的とした市長の附属機関として、各区に設置されています。

②区民会議の審議の流れ

区民会議の検討テーマは、区民会議委員が日々の活動や生活を通して検討する必要があると感じる課題、区役所が業務を通して把握した課題、区民から寄せられた課題などの中から、緊急性や重要性を考慮して選定し、次の流れで、地域での取組につなげていきます。



2. 委員・参与

①第6期中原区区民会議委員

区民会議は、地域で様々な活動をしている団体からの推薦や、公募、区長推薦により選考された20人の委員で構成され、任期は1期2年間です。

■第6期中原区区民会議委員（20名・平成28年7月～平成30年6月）（50音順）

	氏名	選出区分	所属団体
委員長	なりた たかこ 成田 孝子	区長推薦	中原区多胎児育児支援ピーナッツ
副委員長	はしもと みつあき 橋本 満昭	団体推薦（④自然・生活環境）	中原区市民健康の森を育てる会
	いのうえ ごう 井上 剛	区長推薦	川崎フロンターレ中原アシストクラブ
委員	あんどう ひとし 安藤 均	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント
	いとう はつみ 伊藤 初美	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	中原区町内会連絡協議会
	いわさき たかし 岩崎 貴志	団体推薦（⑤産業・まちの活力）	川崎地域連合（中原地区連合）
	うちだ はるひこ 内田 治彦	団体推薦（①防災・地域交通）	中原区自主防災組織連絡協議会
	うめはら ひでき 梅原 英毅	団体推薦（③子育て・教育）	ボーイ&ガールスカウト中原区協議会
	おのやま りえこ 小野山 利江子	団体推薦（③子育て・教育）	中原区総合こどもネットワーク
	かじかわ あけみ 梶川 明美	団体推薦（⑥文化・観光）	中原区文化協会
	こだま れいこ 児玉 麗子	団体推薦（②福祉・健康）	中原区民生委員児童委員協議会
	すずき こうし 鈴木 功士	区長推薦	中原元気クラブ（総合型地域スポーツクラブ）
	すずき はるみ 鈴木 晴美	団体推薦（③子育て・教育）	中原区 PTA 協議会
	せきぐち きよし 関口 清	団体推薦（⑦地域組織・まちづくり）	中原区まちづくり推進委員会
	たなべ しずえ 田邊 静江	団体推薦（②福祉・健康）	中原区民生委員児童委員協議会
	なかもり 中森 ジュリアみどり	公募委員	
	はぎわら 萩原 ひとみ	団体推薦（⑤産業・まちの活力）	川崎中原工場協会
	もり 森 ほの	区長推薦	中原区町内会婦人部連絡協議会
	やなぎさわ まさたか 柳沢 正高	団体推薦（⑤産業・まちの活力）	中原区商店街連合会
	やまざき はつみ 山崎 初美	公募委員	

②第6期中原区区民会議参与

中原区選出の川崎市議会議員、神奈川県議会議員が参与として、区民会議（全体会議）に出席し、必要な助言を行います。

■第6期中原区区民会議参与（50音順）

	氏名	会派
川崎市議会議員	いちこ てるみ 市古 映美	共産党
	おおば ゆうこ 大庭 裕子	共産党
	おしもと よしじ 押本 吉司	民進みらい
	かわしま まさひろ 川島 雅裕	公明党
	しげとみ たつや 重富 達也	無所属
	すえなが なお 末永 直	自民党
	はら のりゆき 原 典之	自民党
	まつい たかし 松井 孝至	民進みらい
	まつばら しげふみ 松原 成文	自民党
	よしおか としすけ 吉岡 俊祐	公明党
神奈川県議会議員	かわもと まなぶ 川本 学	自民党
	きみしま ちかこ 君嶋 千佳子	共産党
	たきた こうとく 滝田 孝徳	かながわ民進党



3. 平成28年度会議開催記録

① 区民会議

全委員及び参加が対象となる区民会議（全体会議）を、平成28年度内に計4回開催しました。各回の日時・議題等は以下のとおりです。

回数	日時・議題
第1回	平成28年8月4日（木）14:00～16:00 区役所5階503会議室 1）正副委員長の互選、専門部会の設置及び部会委員の選任 2）第6期区民会議の審議テーマについて 3）区民会議の広報について
第2回	平成28年10月11日（火）14:00～16:00 区役所5階503会議室 1）第1回運営部会報告 2）審議テーマ（案）「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」について 3）課題調査部会委員の選任
第3回	平成29年1月26日（木）14:30～16:30 区役所5階503会議室 1）第1・2回課題調査部会及び第2回運営部会報告 2）審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」について
第4回	平成29年3月23日（木）14:30～16:30 区役所5階503会議室 1）第3・4回課題調査部会及び第3回運営部会報告 2）審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」について 3）第6期中原区区民会議中間報告書の構成等について 4）第6期中原区区民会議の後期の審議テーマについて



②運営部会

「運営部会」は、区民会議の円滑な運営を図るため、審議テーマの選定や運営に係る調整を行う部会です。委員長、副委員長を含めた7名の委員が参加し、区民会議（全体会）各回の開催前に、計3回開催しました。各回の日時・議題等は以下のとおりです。

回数	日時・議題
第1回	平成28年8月24日（水）14:00～16:00 区役所5階505会議室 1) 運営部会要領の確認、正副部会長の互選 2) 第6期区民会議の審議テーマについて 3) 第2回区民会議について
第2回	平成29年1月11日（水）14:30～16:30 区役所5階505会議室 1) 審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」に関する調査検討について 2) 第3回中原区区民会議について
第3回	平成29年3月9日（木）14:30～16:30 区役所5階505会議室 1) 課題調査部会の報告について 2) 検討テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」に向けた取組のポイント等について 3) 第6期中原区区民会議中間報告書構成案について 4) 第6期中原区区民会議の後期の進め方について 5) 第4回区民会議について

■運営部会参加委員

部会長	成田 孝子
副委員長	橋本 満昭
	井上 剛
委員	小野山 利江子
	梶川 明美
	田邊 静江
	萩原 ひとみ



③課題調査部会

「課題調査部会」は、区民会議で選定された審議テーマについて、地域課題の調査やその解決に向けた取組の審議を集中的・効果的に行う部会です。今テーマでは9名の委員が参加し、計4回の会議を開催しました。各回の日時・議題等は以下のとおりです。

回数	日時・議題
第1回	平成28年10月31日(月) 16:00～18:00 区役所5階503会議室 1) 課題調査部会要領の確認、正副部会長の互選 2) 審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」 解決したい課題・ターゲット、課題解決の方向性など
第2回	平成28年12月8日(木) 14:30～16:30 区役所5階505会議室 1) 審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」 解決したい課題・ターゲット、課題解決の方向性など
第3回	平成29年2月16日(木) 14:30～16:30 区役所5階505会議室 1) 審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」 課題解決に資する取組提案の検討
第4回	平成29年2月22日(水) 14:30～16:30 区役所5階505会議室 1) 審議テーマ「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」 課題解決に資する取組提案のまとめ

■課題調査部会参加委員

部会長	井上 剛
副委員長	梅原 英毅
委員	伊藤 初美
	内田 治彦
	児玉 雛子
	鈴木 晴美
	関口 清
	田邊 静江
	中森 ジュリアみどり



4. 「なかはら区民会議だより」の発行

区民会議の審議状況や取組提案の様子を、より多くの区民の皆様にご覧いただくために、広報紙「なかはら区民会議だより」を発行しています。第6期中原区区民会議では、これまで第28号から第29号を発行しています。

区役所窓口や区ホームページ、区内公共施設での閲覧ができるほか、町内会・自治会における回覧も行っています。

【第28号】平成28年10月1日発行…第6期区民会議の始動・委員紹介など

平成28年10月1日 中原区区民会議発行

中原区の「地域の今、そしてこれから」を考える会議

8月4日(木)、中原区役所会議室で、第6期区民会議第1回会議が開催されました。

区内の市民活動団体の推薦や公募、区長推薦で選ばれた20人が、区長から委嘱状の交付を受けて、委員に就任。互いに自己紹介した後、委員長1名、副委員長2名を選出しました。

各委員の志気・抱負を2・3ページで紹介しています。

中原区らしい取組提案の検討を目指して

現在、審議テーマについて活発な議論を進めています。

「多様な区民の安全・安心につながる防災のまちづくり」「2020年の東京オリンピック・パラリンピックの機会を捉えた歓迎のまちづくりや伝統文化の伝承」などが候補としてあがっています。

テーマ決定後は、「協働（行政・区民がそれぞれの役割を果たしながら共に取り組むこと）」による地域課題の解決を目指し、具体的な取組提案の検討を進めます。これまで多くの取組が区民会議の提案から実現してきています。

区民会議の今後、問合せ先などは4ページをご覧ください。

区民会議とは？

区民が主役となって、区民の視点から地域の課題を解決するために話し合いや調査を行う会議です。

川崎市では、平成18年から「自治基本条例」に基づき、各区1期2年の任期で設置されています。

平成28年10月5日 区民区民会議より 第28号 中原区民会議発行 中原区民会議発行 区民区民会議より 第28号 平成28年10月5日

第6期中原区区民会議委員のご紹介

成田 孝子 (なりた たかこ)

●区民議員
中原区民会議委員経験10年
●様々な分野での活動を通じて、地域を活性化させることに貢献したいと考えています。

根本 清昭 (もとみ しみあき)

●区民議員 (自然・生活環境)
●中原区民会議委員経験10年
●自然を大切にし、環境を良くしたいと考えています。

安藤 均 (あんどう ひろし)

●区民議員 (子育て・教育)
●中原区民会議委員経験10年
●子育て支援、教育の充実を目指しています。

鈴木 健子 (すずき けんこ)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

鈴木 明美 (すずき ありみ)

●区民議員 (子育て・教育)
●中原区民会議委員経験10年
●子育て支援、教育の充実を目指しています。

岡口 清 (おかぐち しみず)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

田邊 静江 (たねがわ せいけい)

●区民議員 (子育て・教育)
●中原区民会議委員経験10年
●子育て支援、教育の充実を目指しています。

中森 ジュリアアミ (なかもり じゅりあみ)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

森 任の (もり しのぶ)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

山崎 初美 (やまざき はつみ)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

小野山 利江子 (おのやま りえこ)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

岩崎 貴志 (いさざき かつし)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

梅原 真樹 (うめはら まこと)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

野川 明雄 (のがわ てるお)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

内田 治彦 (うちだ ぢげん)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

伊藤 初美 (いとう はつみ)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

井上 剛 (いのうえ 剛)

●区民議員 (福祉・健康)
●中原区民会議委員経験10年
●高齢者の生活支援、健康増進を目指しています。

区内の様々な分野の市民活動団体で活躍されている方々です。任期は平成28年7月から29年6月までの2年間にあります。よろしくお願いいたします。

平成28年10月5日 区民区民会議より 第28号 中原区民会議発行

地域課題解決！ 区民会議の開催・推進から生まれた取組

スクアードストリート方式の交通安全教室 開催回数の増加

第3期区民会議開催テーマ「地域コミュニティ、みんなが育てる交通安全」へ歩み寄りたい方へ

平坦な土地が多いことなどから、自転車や歩道の交通安全として利用する区民が多い中原区。正しい交通ルールやマナーを区民に広めることで、危険や事故の少ない中原区を目指す取組が進められています。

「多様な世代の区民が正しい交通ルール・マナーを学ぶ機会を増やす取組」として区民会議が推進した「スクアードストリート方式（スクアードマンによる交通安全教育を実施）することで、ルールとマナーの大切さを学び、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育手法」の交通安全教室が区内での開催回数を増やし、より多くの区民が体験できるようになりました。




区民会議の今後

第2回 第6期中原区区民会議（全体会議）
平成28年10月11日（火）14時～
中原区役所5階会議室

第6期の区民会議開催テーマを決定します。
テーマを具体的に検討する課題検討委員会を立ち上げます。（予定）

※区民会議の開催は、開催が可能でます。ご関心・ご興味のある方はぜひお申し込みください。
※委員会・協議会の開催・資料等は、中原区のホームページにも掲載されています。
<http://www.city.kawasaki.jp/yakuhara/category/97-18-1-6-0-0-0-0.html>

お問い合わせ先
中原区民会議事務局（区役所会議室）
〒211-8570 中原区小杉町3-245
電話：044-744-3149 FAX：044-744-3340
E-mail: 655kaku@city.kawasaki.jp

区民会議へのご意見なども…お待ちしております！

中原区民会議事務局より

発 行 中原区区民会議
編 集 中原区区民会議事務局
(中原区役所まちづくり推進部企画課)
所在地 川崎市中原区小杉町3-245
電 話 044-744-3149
F A X 044-744-3340
メー ル 65kikaku@city.kawasaki.jp



避難所の実状、「互近助」「在宅避難の備え」のすすめ

■大災害時こそ重要な「互近助」

中原区では、28 の小中学校等が「避難所」に指定されており、各避難所で運営会議の組織化、開設訓練などの取組が進められています。

しかし、避難所の施設や収容人数、備蓄、担い手には限界もあり、規模が大きな災害の発生時ほど、まず自分の身は自分で守る「自助」、そして身近な地域で助け合う「共助」「互近助」が重要になります。

■在宅で「避難生活」できるよう備えよう

避難所は決して「快適」ではありません。また多くの住民が殺到すれば、あっという間に「パンク」します。

災害発生後、電気・ガスなどが止まっても、建物倒壊等の恐れや健康上の大きな不安等が無い場合は、自宅で快適に生活し続けられる様、家具の転倒防止や備蓄など「在宅避難の備え」を普段からしておきましょう。



※非常時には持ち出せるようにしておくとい。

家庭での備蓄（在宅避難の備え）の例

水・食糧…3 日～1 週間分。普段購入している日持ちするもので OK。

安全…懐中電灯・軍手・ヘルメット・運動靴 など

医療・衛生…簡易トイレ・ウェットティッシュ・薬・オムツ・生理用品 など

衣類・防寒…防寒着・着替え・雨具・シート・毛布・手ぬぐい など

便利・道具…ポリ袋・食品用ラップ・ナイフ・時計・卓上コンロとボンベ など

貴重品・情報…ラジオ・電池・印鑑・保険証・現金など

参考：「備える。かわさき」「高層マンション防災対策の手引き（品川区）」

家庭内食糧備蓄のコツ、「ローリングストック法」

■日常生活で消費しながら備蓄

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法。

食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができるようになります。

食糧だけでなく、飲料水、卓上コンロのボンベ、乾電池、使い捨てカイロなども同じようにストックしておくとい、いざという時、大変便利です。



川崎市防災情報ポータルサイト

緊急情報、地図・ハザードマップ、防災の知恵袋、川崎市防災計画、過去の災害など、防災に関する総合的な情報にアクセス！



◀ 点線で切り取り、穴を開けて紐を通してぶら下げる、貼りつけるなどして使いましょう。



無事です。

避難完了、もしくは自宅（ここ）で無事に過ごしています。

氏名：

緊急連絡先：



災害時にご活用ください「無事ですカード」

●無事ですカードとは

災害発生時に地域で「至急の救助・救援が必要とする家庭・被災者」をいち早く発見する為に、「自宅で無事に過ごしている家庭」や「避難が完了した家庭」が、無事である事を知らせるカードです。ドアの前等、見えるところに貼りつけ、ぶら下げたりしましょう。

●「無事ですカード」を掲示する前に…

□ ガスの元栓、電気のブレーカーを切る

配管や電線に破損等があった場合、火災等の二次災害の原因になる事があります。

災害発生直後ばかりでなく、再通電等の際にも火災の原因になってしまう事があります。

□ 外出・避難の際は戸締りをする

災害発生後に、空き巣等が発生することがあります。

※ドアの破損等がある場合や、いち早い避難が必要な場合はこの限りではありません。

□ 「互近助」の精神で、近所で声をかけあい、助け合う

特に災害の規模が大きい場合、公的な支援や救助が到着するまでに時間がかかってしまう場合も想定されます。自らの安全を確保した後は、隣近所で互いに助け合いましょう！